

古典芸能鑑賞会

いるま

狂言会

〜人間国宝 山本東次郎の至芸〜

素袍落

太郎冠者
主 山本 凜太郎
伯父 山本 則重
山本 則俊

東西迷

住持 山本 東次郎
住持 山本 泰太郎
若市 山本 則孝
告げ手 山本 凜太郎
山本 則重
山本 則秀
寺本 雅一
若松 隆

若市

笛 藤田 貴寛
小鼓 田邊 恭資
大鼓 柿原 光博
山本 東次郎

狂言のお話

(終了予定時刻 十七時頃)

※出演者 演目は都合により、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

素袍落

すおうおとし

伊勢参りを思い立った主人は、かねてより参詣希望のあった伯父を誘うため、太郎冠者を遣いに出す。伯父には生憎先約があつて同行は出来ないものの、折角訪ねて来た太郎冠者に対して門出の祝いと酒を振舞い、自分の代参を頼んで引出物の素袍を託す。振舞われるままにすっかり酔いの回つた太郎冠者は、やがて支離滅裂な状態となつて。

東西迷

どちほくれ

千僧会という大法会に呼ばれた住持(住職)。しかしその日は常斎(檀家が供する毎月の食事)の日であることに気づく。日常を支え、手厚いもてなしを受けられる斎と、名譽の晴れ舞台であり、布施ももらえる法会との間で、どちらに行くべきか住持は迷いに迷う。
大蔵流の祖本『虎明本』をもとに、二〇〇六年に山本東次郎が復曲した独り狂言。

若市

にゃくいち

寺の住持が道で若い尼僧の若市に出会う。若市はこれから向かう寺の稚児や檀那衆に進上するための花を持ち参っていたが、住持は何かと言ひ掛かりをつけて、この花を若市から筆り取る。怒つた若市は辺りの尼僧達を引き連れて。

【出演】 山本東次郎 山本則俊 山本泰太郎 山本則孝
山本則重 山本則秀 山本凜太郎 若松隆 寺本雅一
囃子方：藤田貴寛 田邊恭資 柿原光博



山本東次郎 やまもと どうじろう

狂言方大蔵流・山本東次郎家四世山本会主宰
三世東次郎長男
平成10年紫綬褒章受章
平成19年度日本芸術院賞受賞
日本芸術院会員
重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)



山本則俊 やまもと のりとし

狂言方大蔵流・三世東次郎三男
平成2年度芸術選奨新人賞受賞
平成19年度芸術祭優秀賞受賞
平成24年旭日双光章受章
重要無形文化財総合指定



山本泰太郎 やまもと やすたろう

山本則直長男
平成22年度芸術祭優秀賞受賞
平成23年度日本伝統文化振興財団賞受賞
重要無形文化財総合指定



山本則孝 やまもと のりたか

山本則直次男
父および東次郎に師事
重要無形文化財総合指定

令和3年 6月26日(土) 14:00開演(13:30開場)

入間市産業文化センター

入場料(全席指定・税込)：前売 3,000円(当日 3,500円)

チケット発売・予約開始 令和3年3月6日(土)

[チケット取扱い・お問い合わせ]

入間市文化創造アトリエ・アミーゴ

〒358-0053 埼玉県入間市仏子 766-1 TEL04-2931-3500
窓口・電話予約：9:00~20:00

※販売初日は9:00から窓口のみ。電話予約は、翌7日(日)からの取扱い。

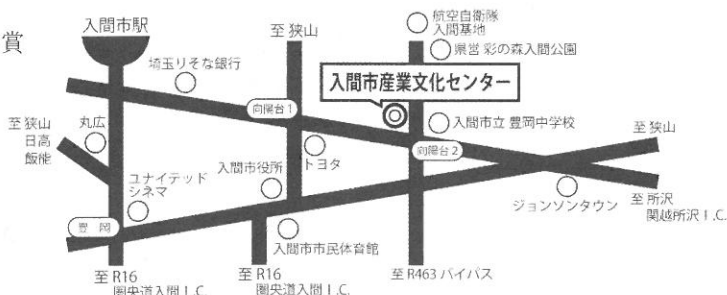
入間市産業文化センター

〒358-0001 埼玉県入間市向陽台 1-1-7 TEL04-2964-8377
窓口・電話予約：8:30~19:30 (祝日を除く月曜日休館)

※販売初日は10:00から電話予約のみ。電話予約分のチケットは、3月6日(土)から窓口にて引換え可能。窓口販売は、翌7日(日)から開始。

■交通案内

【電車】西武池袋線・入間市駅(南口)下車 徒歩約12分



【共催】NPO法人 入間市文化創造ネットワーク／公益財団法人 入間市振興公社